

第6期科学技術基本計画に向けた論点例（議論のためのたたき台）

- 科学技術・学術研究を横断的に支え、さらに発展させるために情報科学技術を活用して取り組むべきことは何か。
 - ・ 各研究分野を支える汎用技術としての情報科学
 - ・ データ駆動型サイエンス、AI駆動型サイエンスの振興（各分野との連携・融合（データ・AI×〇〇分野））
 - ・ セキュリティ技術、インターフェース技術
 - ・ 研究支援活動・研究施設へのAI、情報科学技術の積極的導入
 - ・ 科学的発見ができるAI 等

- 社会・経済発展の基盤として、情報科学技術が果たすべき役割、将来に向けた目標についてどのように考えるか。
 - ・ ユーザー指向、ユーザー中心
 - ・ どこでも、誰でも恩恵が受けられるネットワーク通信、サービス
 - ・ 安全、信頼性が高く、個別化したネットワークサービス技術 等

- 大学・研究機関等が情報科学技術を活用して研究開発や社会課題の解決に取り組むための情報基盤インフラをどのように整備・活用すべきか。
 - ・ SINET、モバイルSINET（5Gへの対応）、データ活用社会創成プラットフォーム
 - ・ HPCI（計算資源）
 - ・ 機関リポジトリ、分野別リポジトリ 等

- データ利活用、オープンサイエンスのさらなる促進に向けてどのような具体策が必要か（これまでの学術情報委員会等における議論を前提として）。
 - ・ データと大学の知を融合した社会課題解決・新産業創出
 - ・ データの保存・管理、活用に向けた仕組み
 - ・ データを共有・公開するインセンティブ
 - ・ データを扱う人材の育成・確保 等

- 情報科学技術分野の人材育成・確保について取り組むべき具体的方策は何か。
 - ・ 数理・データサイエンス人材、支援人材、産業界との連携 等

- その他、情報科学技術に係る個別分野の取組の中で、研究力向上に向けたシステム改革に共通して活かせる方策としてどのようなものがあるか。

等